

特定課題Ⅷ 自然公園の利用のあり方

1. 主要施策の取組状況

(1) 登山者による環境への影響軽減対策

① 登山道等の整備・維持管理

自然環境保全センターでは登山道施設の状況を把握したうえで、登山道等の整備・維持管理を実施した。

トイレ紙持ち帰りを推進するため、パークレンジャーによる広報の他、ビジターセンターにおける啓発展示や広報用袋の配布を行った。

② **重点** 団体等との協働による登山道維持管理の実施(登山道維持管理補修協定)

みろく山の会（大倉尾根線）、丹沢山小屋組合（二俣鍋割線、鍋割山稜線）、神奈川県自然公園指導員連絡会（下社大山線、表尾根線）、神奈川山岳連盟（ヤビツ峠大山線、菩提峠ヤビツ峠線）と協働による登山道補修を実施した。



登山道を補修している様子

○県民協働による登山道維持管理の実施状況

(単位：m)

路線名	実施団体	R5	R6
大倉尾根線 (6,384m)	実施団体：NPO法人みろく山の会 活動期間：平成20年9月～ 活動内容：登山道維持管理補修、地域性苗木の試行植栽、登山者数調査	163	97
二俣鍋割線 (2,363m)	実施団体：丹沢山小屋組合 活動期間：平成23年9月～ 活動内容：登山道維持管理補修、登山者数調査	114	114
鍋割山稜線 (4,801m)		0	0
下社大山線 (4,200m)	実施団体：神奈川県自然公園指導員連絡会 活動期間：平成26年2月～ 活動内容：登山道維持管理補修、登山者数調査	103	58

表尾根線 (6,207m)	実施団体：神奈川県自然公園指導員連絡会 活動期間：平成26年9月～ 活動内容：登山道維持管理補修、 登山者数調査活動内容：登山道維持管理補修、登山者数調査	66	70
ヤビツ峠大山線 (2,000m)	実施団体：神奈川県山岳連盟 活動期間：平成29年11月～ 活動内容：登山道維持管理補修、登山者数調査	520	520
菩提峠ヤビツ峠線 (3,900m)	実施団体：神奈川県山岳連盟 活動期間：令和2年1月～ 活動内容：登山道維持管理補修	1,000	1,000

※太枠内は第4期計画期間

③環境配慮型山岳公衆トイレの整備・維持管理

環境配慮型山岳公衆トイレ^{※1}の維持管理を県や市、「丹沢大山国定公園公衆トイレ運営委員会」^{※2}により行った。これらのトイレの一部では、利用者が環境配慮型山岳公衆トイレを1回使用すごとに100円の協力金（チップ）を負担してもらい、この協力金で維持管理を行った。この協力金はナッジ^{※3}を用いた方法でお願いをした。

- ※1 環境配慮型山岳公衆トイレ 微生物の力を利用してし尿を分解し、周辺に排水を放流しない公衆トイレ。
- ※2 丹沢大山国定公園公衆トイレ委員会 県と山小屋で構成する団体で、県管理の環境配慮型山岳公衆トイレの維持管理を行っている。
- ※3 ナッジ 行動科学の知見の活用により、人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるよう手助けする手法。

○環境配慮型山岳公衆トイレ設置状況

番号	名称	設置	管理者	チップ	委員会
①	塔ノ岳公衆便所	H13	県	○	○
②	檜洞丸公衆便所	H14	〃	○	○
③	鍋割山公衆便所	H15	〃	○	○
④	丹沢山公衆便所	H16	〃	○	○
⑤	黍殻避難小屋	H12	〃		
⑥	畦ヶ丸避難小屋	H11	〃		
⑦	南山公衆便所	H15	〃		
⑧	犬越路避難小屋	H17	〃		
⑨	ユーシン公衆便所	H28	〃		
⑩	鳥尾山公衆便所	H24	秦野市	○	
⑪	花立公衆便所	H25	〃	○	
⑫	観音茶屋公衆便所	H26	〃	○	
⑬	見晴茶屋公衆便所	H27	〃	○	
⑭	三ノ塔公衆便所	H29	〃	○	
⑮	木ノ又小屋	R 2	〃	○	
⑯	大倉高原山の家公衆便所	R 3	〃	○	



ナッジによる協力金のお願い



環境配慮型山岳公衆トイレ
(秦野市・大倉高原)

(2) 自然公園利用に関するマナー等の普及啓発

① **重点** かながわパークレンジャー・自然公園指導員等による普及啓発活動

かながわパークレンジャー（以下「パークレンジャー」という）により、県が管理する登山道のマナーの広報、巡視・補修活動〔全県分_計 63 回〕やマナー違反への指導が行われた。

神奈川県自然公園指導員（以下「自然公園指導員」という）により、県内の自然公園と長距離自然歩道（東海自然歩道、関東ふれあいの道）において、巡視活動〔全県分_ 1,938 件〕及び軽微な登山道補修が行われた。

自然環境保全センターは、自然公園指導員、パークレンジャー等と連携して収集した丹沢・陣馬山地の植物の開花、紅葉、積雪の情報を、自然環境保全センターのホームページや SNS で情報発信した。

② 神奈川県立ビジターセンター等を拠点とした普及啓発活動 (IX-(3)-②)

神奈川県立秦野ビジターセンター及び神奈川県立西丹沢ビジターセンター（以下「ビジターセンター」という）において、パネル等の展示により、その時々々の自然情報やマナー等について普及啓発を促進した。

[利用者数 秦野：110,689 人 西丹沢：122,076 人]

また、ビジターセンターでは丹沢の自然に関する最新情報や、登山道の状況及びマナーなど、安全に登山や自然を楽しむための情報をホームページや SNS 等で発信した。

(3) 自然公園における利用のあり方の検討

① 自然公園における利用のあり方の検討

トレイルランニング大会に関して、自然公園許認可事務担当者会議を利用し、国及び県の対応や開催の状況を市町村に周知した。

丹沢地域の登山道を利用したトレイルランニング大会が開催されたが、事前に相談のあった主催者に適切な運営等について要請した。

② 登山者カウンターによる登山者数の調査

令和3年度から令和5年度の調査により、丹沢大山山域における登山者数の状況が概ね把握できたため、令和6年度の調査は実施していない。

2. 主な事業実施位置図

